

岡山市水道事業審議会

第19回資料



平成 17 年 3 月 24 日（木）9 時 30 分～

岡山市水道局水質試験所会議室

岡 山 市 水 道 局

目 次

1	水道料金の改定について……………	別添
2	合併に伴う水道事業及び工業用水道事業の統合について……………	2
3	水道通水100周年記念事業について……………	6
4	登録有形文化財の登録について……………	8

別添資料1 アクア通信 VOL. 2 1

2 個別需給給水契約のご案内

2 合併に伴う水道事業及び工業用水道事業の統合について

1 事業の統合

御津町、灘崎町との合併に伴い、3月22日付けで両町の水道事業を岡山市水道事業に、御津町工業用水道事業を岡山市工業用水道事業に、それぞれ統合した。

2 統合の概要

(1) 組織

合併地区の住民サービスの維持のため、両町に料金事務等を担当する出張所を設置する。管理部門は、効率化を図るため、岡山市に統合する。

(2) 水道料金等

水道料金及び工業用水道使用料金は、当面の間、それぞれの水準を維持する。

(資料1のとおり)

手数料、負担金等は、岡山市の額に合わせる。

3 各事業の概要

資料2のとおり

水道料金（岡山市は新料金）

岡山市、灘崎町及び御津町とも基本料金と従量料金の二部制をとっているが、料金体系は異なる。

- (1) 岡山市：口径別料金体系をとり、従量料金については逡増制を採用している。
- (2) 灘崎町：用途別料金体系をとり、従量料金については用途に関わらず同一単価を採用している。
- (3) 御津町：用途別料金体系をとり、従量料金については用途別に同一単価を採用している。

メーター使用料は、岡山市は基本料金に含まれ、灘崎町、御津町は別に徴収している。

現行水道料金の比較

【基本料金】 1か月あたり(税抜) 単位:円

岡 山 市		御 津 町		灘 崎 町	
口 径	基本料金	用 途	基本料金	用 途	基本料金
			8m ³ まで		8m ³ まで
13ミリ	670	一般用	1,380	一般用	790
20ミリ	1,020	営業用	1,380	営業用	790
25ミリ	1,720	工業用	1,380	浴場営業用	4,937
40ミリ	3,750	学校・官公署用	3,450	工業用	2,962
50ミリ	7,430	共用	1,380	特別用	790
75ミリ	14,380	臨時用	2,070	浴場営業用は50m ³ まで 工業用は30m ³ まで	
100ミリ	24,150	学校・官公署用は20m ³ まで 社、寺、公民館、公会堂など 居住していない施設は年間 24m ³ まで4,140円			
150ミリ	38,390				
200ミリ	57,320				
250ミリ	86,930				
300ミリ	115,500				

【従量料金】 1か月あたり(税抜) 単位:円

岡 山 市		御 津 町		灘 崎 町	
口 径	給水料金 1m ³ につき	用 途	給水料金 1m ³ につき	用 途	給水料金 1m ³ につき
(13～25ミリ)		一般用	180	一般用	100
1～10m ³	30	営業用		営業用	
11～20m ³	136	工業用		浴場営業用	
21～30m ³	148	学校・官公署用		工業用	
31～50m ³	170	共用	180	特別用	
51m ³ ～	195	臨時用	270		
(40ミリ～)		社、寺、公民館、公会堂など			
1～50m ³	170	1m ³ につき180円			
51～300m ³	195				
301m ³ ～	216				

【メーター使用料】 1か月あたり(税抜) 単位:円

御 津 町		灘 崎 町	
口 径	使用料	口 径	使用料
13ミリ	100	13ミリ	48
20ミリ	150	20ミリ	87
25ミリ	160	25ミリ	97
40ミリ	300	40ミリ	165
50ミリ	1,500	50ミリ	388
75ミリ	1,800	75ミリ	728
100ミリ以上	別に定める	100ミリ	1,067

【一般家庭用水道料金比較】 1か月あたり(税込) 口径13ミリ 単位:円

	岡山市	御津町	灘崎町
10m ³	1,018	1,932	1,089
20m ³	2,446	3,822	2,139
30m ³	4,000	5,712	3,189

1 岡山市・御津町・灘崎町の水道事業概要について

資料 2

平成15年度末現在

		岡山市	御津町	灘崎町
給水人口	人	634,524	10,428	16,320
普及率(人口)	%	99.8	99.3	99.9
給水件数	件	240,647	3,609	5,494
年間配水量	m ³	93,392,448	1,546,597	1,893,830
1日最大配水量	m ³	8/5 284,614	6/17 4,981	5,800
年間有収水量	m ³	85,605,063	1,125,042	1,599,486
有収率	%	91.7	72.7	84.5
配水管総延長	m	3,604,474	185,457	69,133
水道料金	円	11,869,783,895 (12,462,773,388)	214,336,310 (225,050,476)	168,495,726 (176,920,509)
総収益	円	12,905,063,094	226,331,888	170,294,015
総費用	円	12,727,579,959	263,993,571	159,697,171
純損益	円	177,483,135	-37,661,683	10,596,844

(注) 表中金額は、すべて消費税抜きの金額である。ただし水道料金の()は消費税を含む。

2 御津町工業用水道について

- (1) 供用開始 平成3年
- (2) 給水事業所 7事業所
- (3) 給水状況 705m³/日(計画3,000m³/日)
- (4) 財政状況(平成15年度)

事業収益 17,076,295円

事業費用 21,200,306円

純損失 4,124,011円

3 水道通水100周年記念事業について

1 趣旨

岡山市の水道は、明治38年7月23日、全国でも8番目の早さで通水を開始した。岡山市以前の7都市が、横浜、函館、長崎、大阪、東京など、大都市や開港都市であったのに対し、一地方都市であった岡山でこのように早い時期に水道をもったことは、多くの先人の努力の賜物であり、すばらしいことである。

以来、岡山市の水道は一度も断水することなく水を送りつづけ、本年7月23日には、通水100周年を迎える。

また、今年の2月9日付けで、三野浄水場緩速ろ過池、半田山配水池など創設当時から利用している水道施設10施設が登録有形文化財に登録され、岡山市水道の歴史を再認識したところである。

そこで、これまでの市民の皆様の理解と協力に感謝するとともに、岡山市水道の新たな世紀に向けて、より一層市民の皆様の期待に応える水道を構築する出発の年として、さまざまな記念事業を実施するものである。

2 実施予定の記念事業

(1) 春のおかやま水道フェア-de ふれあい

- | | |
|------|---|
| ア 日時 | 平成17年4月9日(土)、10日(日) |
| イ 場所 | 岡山市法界院3-1 半田山植物園 |
| ウ 趣旨 | 通水100周年及び御津・灘崎町との合併を記念し、岡山市、岡山市水道局及び(財)岡山市公園協会の主催により、水道の歴史を広く市民に知っていただき、併せて合併地区住民同士の融和を図ることを目的に、水道との「ふれあい」、住民同士の「ふれあい」をテーマに、1000本の桜が咲き誇る半田山植物園において開催する。 |
| エ 内容 | 施設を巡るスタンプラリー
水道の歴史の展示
ゲームコーナー・水の実験室
大道芸・アトラクション |
| | ほか |

(2) 岡山市水道記念館のリニューアルオープン

- | | |
|------|--|
| ア 日時 | 平成17年4月19日(火) |
| イ 場所 | 岡山市三野一丁目2-1 三野浄水場内 |
| ウ 趣旨 | 岡山市水道記念館は、創設当時の動力室・送水ポンプ室を利用し、昭和60年に通水80周年を記念して改装したものであり、来館者 |

は主に小学4年生の団体である。

現在の施設が見るだけの静的な展示であったため、小学校の社会科や総合教育での学習効果を高め、また、小学生だけでなくより大人も楽しむことができるように、「水の性質」、「水道」、「岡山の水」をテーマに水をさまざまな角度から探ることで、水の役割、水の大切さを知ることができる施設にリニューアルするものである。

(3) 水道週間中央行事

- ア 日時 平成17年6月5日(日)
- イ 場所 岡山シンフォニーホール及び表町商店街
- ウ 趣旨 6月1日～7日の水道週間に合わせ、地方の持ち回りで開催している水道週間中央行事を開催する。
- エ 内容 記念式典
記念講演会 俳優・気象予報士 石原良純
「気象予報と”水”」(仮題)
全国水道事業体の製造しているボトル水の展示・試飲
水道アンケート・水道なんでも相談・水道パネル展示
水の実験室・水道クイズ ほか

(4) 通水100周年記念式典

- ア 日時 平成17年7月23日(土)
- イ 場所 岡山シンフォニーホール
- ウ 趣旨 岡山市水道通水100周年を市民の皆様とともに祝い、岡山市水道の新たな世紀に向けて、市民の皆様にご信頼され、親しまれる水道を目指すことをPRするため、市民参加型のイベントを開催する。
- エ 内容 オープニング 桃太郎少年合唱団
記念式典
記念コンサート 辛島美登里 ほか

(5) その他

- ア 水道史及び水道史写真集の発行
- イ 水源林関係事業(新庄村第1次水源林事業完了式)

4 登録有形文化財の登録について

1 登録有形文化財制度とは

身近な建造物であっても再び造ることのできないような建造物を保護するため、文化財資産として活かすことを支援する制度（平成8年創設）

2 対象となる建造物

- (1) 築後50年経過している。
- (2) 歴史的景観に寄与している。
- (3) 造形の規範となっている。
- (4) 再現することが容易でない。

3 登録された場合のメリット、デメリット

- (1) 保存、活用に必要な修理の設計費の2分の1が補助される。
- (2) 青銅プレート1枚と指定物件ごとの登録証書が授与される。
- (3) 外観上の4分の1を超える修繕については、国への届出が必要となる。

4 対象建造物

- | | |
|---|-------|
| (1) 京橋水管橋 | 明治38年 |
| (2) 三野浄水場 第一水源取水口（石垣の石組） | 明治38年 |
| (3) 三野浄水場 緩速ろ過池（1号、3号） | 明治38年 |
| (4) 三野浄水場 旧動力室・送水ポンプ室
（水道記念館・発電機棟煙突） | 明治38年 |
| (5) 半田山配水地 一号配水池 | 明治38年 |
| (6) 半田山配水地 二号配水池 | 明治38年 |
| (7) 半田山配水地 三号配水池 | 大正 8年 |
| (8) 半田山配水地 創建量水室 | 明治38年 |
| (9) 半田山配水地 増設量水室 | 昭和14年 |
| (10) 半田山配水地 旧事務所 | |

5 登録年月日 平成17年2月9日

経過及び今後の予定

平成16年9月10日までに文化庁へ登録を申請

平成16年12月10日 文化財保護審議会から文部科学大臣への答申

平成17年7月ごろ プレート受理（予定）

岡山市水道事業関連施設の概要

1 岡山市水道事業の沿革

コレラの流行などから水道布設機運が高まり、明治23(1890)年に内務省衛生技師W.K.バルトンの調査を経て、明治24(1891)年設計書が完成したが、財源不足、23年の米不作、24年以降の金融恐慌、25年26年の大洪水、27年の日清戦争などにより立ち消えになった。

明治30(1897)年、市会で水道調査費可決(第2次敷設計画)、陸軍の水道技師吉村長策の調査・設計を得て、明治36(1903)年起工、全国で8番目の近代水道として明治38(1905)年3月31日完工、同7月23日通水式が挙行された。その後、陸軍第17師団の設置や市域の拡大、人口増による拡張工事を重ねながら現在に至っている。

創設 明治36(1903)～明治38(1905)年

設計嘱託技師 吉村長策(陸軍技師)

水道工事部工事長 佐野藤次郎(神戸市水道工事課長)

専門技師 二星次郎(神戸市水道局技師)

第1期拡張工事 明治45(1912)～大正11(1922)年(師団設置)

第2期拡張工事 大正13(1924)～大正15(1926)年(市域拡大・第1次世界大戦)

顧問 大井清一(京都大学工学部長)

専門技術者 池田篤三郎(大阪市水道部)

第3期拡張工事 昭和8(1933)～昭和13(1938)年(市域拡大・人口増)

2 岡山市水道関連施設の特徴

岡山市の上水道は横浜、函館、長崎、大阪、広島、東京、神戸に次ぐ全国8番目の近代水道である。開業当初の各施設が良好に残されており、しかもその多くが現役で稼働しているのが特徴といえる。

京橋水管橋は、最古級の水管橋というばかりでなく、隣接する“選奨土木遺産”京橋(大型鋼I桁橋、大正6年)と好対照をなし、当地の歴史的景観に占める位置は大きい。

三野浄水場、半田山配水池は開業時の施設が良好に遺されるばかりでなく、各時代の取水から配水に至る施設が稼働しており、水道の発達や技術的変遷を知ることができる。また、今回対象とした、緩速ろ過池、動力室・旧送水ポンプ室、配水池などは煉瓦とこの地域に特徴的な花崗岩切石を多用する“赤”と“白”のコントラストが美しい。また、配水池は水道施設としては希有な公開施設である。

京橋水管橋（岡山市京橋町～西中島町）

直弦の鋼ワーレントラス5連、全長 131.2m。創設時（明治38年）の建築。橋脚は五角形平面のコンクリート造り4基で、「水切り」及び四隅に流木等の衝突による破損を防ぐため、鉄板を取り付ける。水道用鋼製橋で最初期のもの。

三野浄水場第一水源取水口（岡山市三野）

北側取水口は明治38年の創設時のもの。当初はサイフォン式取水管で取水ポンプ吸上井（砂取井）に流入させるものであった。南側取水口は大正15年（第2期拡張工事）の増設。

この拡張工事の際に、北側取水口も自然流下式に改修、現在の構造となる。現在も稼動しており、54,700m³/日の取水能力を持つ。

三野浄水場緩速ろ過池（岡山市三野一丁目2-1）

明治38年の創設時の4基の緩速ろ過池のうち現存する2基。練り粘土にコンクリートブロック積、縁石に花崗岩切石を配する。33.936m×33.936m、深さ平均2.4m。

なお、第1期拡張工事の5号・6号緩速ろ過池、第2期拡張工事の7号、8号緩速ろ過池を含め現役で稼動している。

三野浄水場旧動力室・送水ポンプ室（岡山市三野一丁目2-1）

煉瓦造平屋建、棧瓦葺、寄棟造り、トラス小屋組みの洋風建築。屋根の四周にパラペットをのせ、正面に木造、天然ストレート葺きの車寄せを設ける。窓は半円アーチの縦長の上げ下げ窓、基礎や窓の要石など随所に花崗岩を使う。旧動力室煙突は特徴的な八角形煉瓦積みの煙突である。もとは高さ30mほどあったが、現在上部は撤去されている。

半田山配水地一号配水池（岡山市法界院3-1）

同 二号配水池（岡山市法界院3-1）

同 三号配水池（岡山市法界院3-1）

一号～三号の円形配水池は同じ構造であり、一号、二号が創設時（明治38年）、三号が第1期拡張工事（大正8年）の建築である。直径20.65m、深さ4.5m、容量1170m³。現在も稼動している。全国的に類例の少ない円形配水池。

半田山配水地 創建量水室（岡山市法界院3-1）

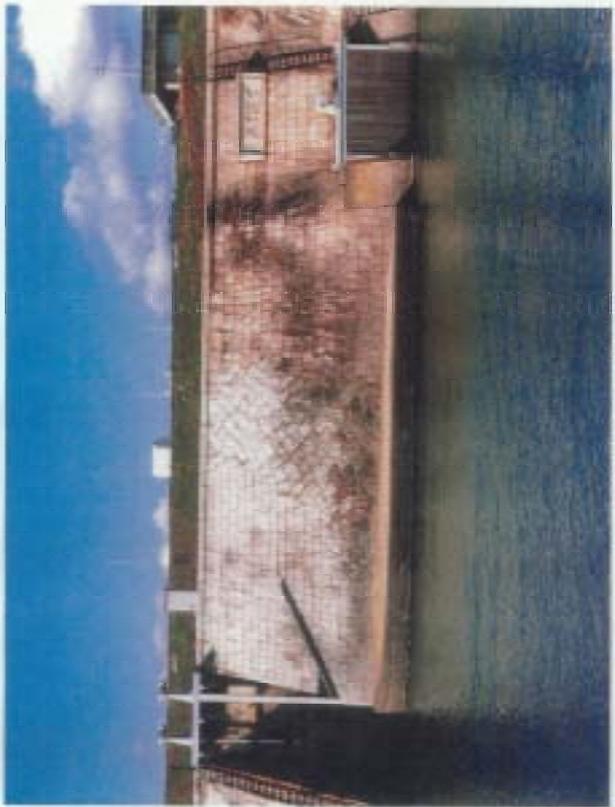
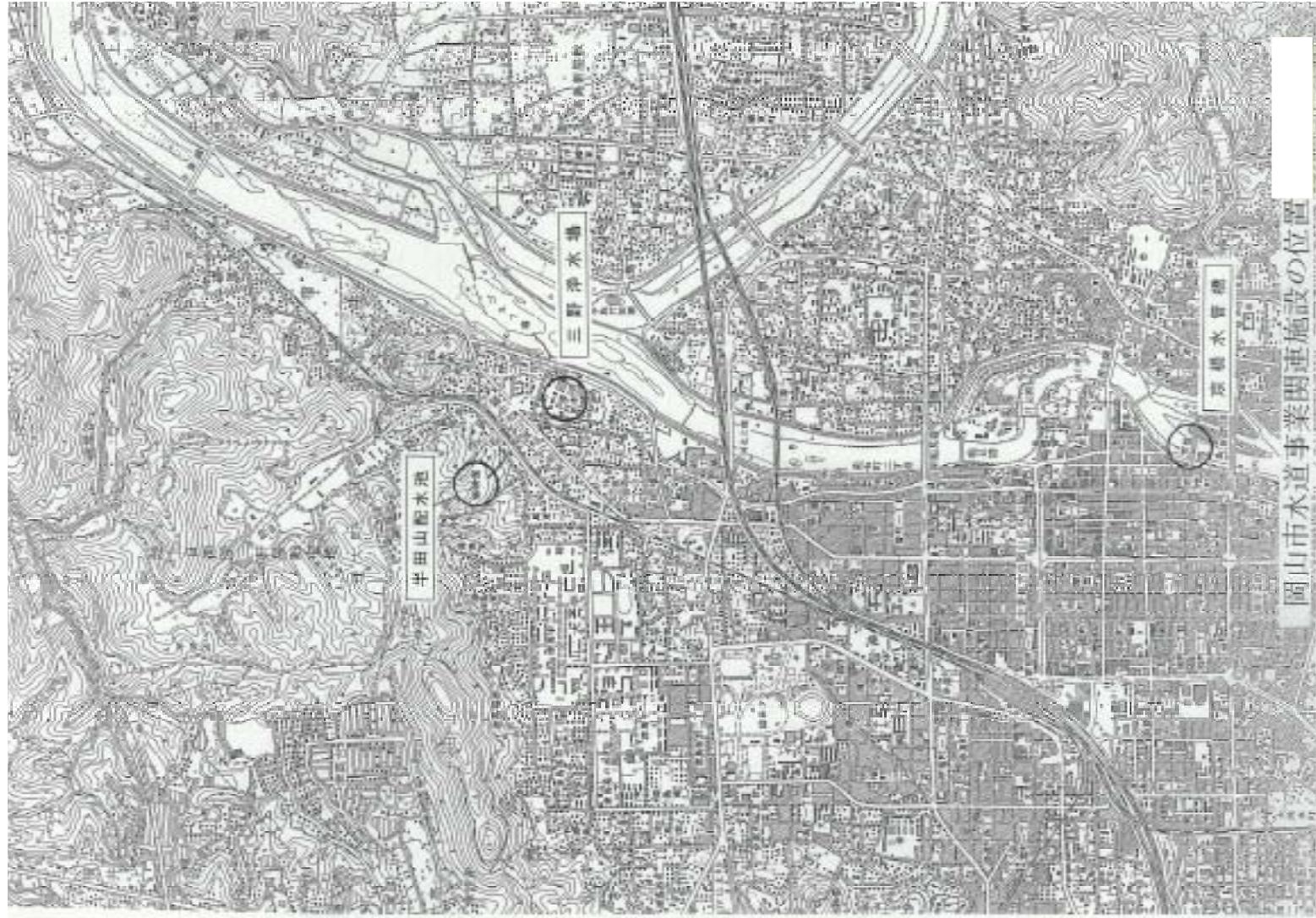
同 増設量水室（岡山市法界院3-1）

六角形煉瓦積みの小規模な建物。もとは内部にベンチュリー式量水器を設置。基礎や入口、その上のペディメント、円形の小窓には花崗岩を使用。明治38年。

西側のものは昭和14年に増設された六角形鉄筋コンクリート造りの量水室。外側のタイルを煉瓦積み風とするなど明治38年の量水室に似せたデザインとしている。

半田山配水地 旧事務所（岡山市法界院3 - 1）

木造平屋建、寄棟造、棧瓦葺きの建物。腰縦板張、その上部を下見板張りとする。花崗岩の基礎、軒に瓔珞飾を付ける。窓のデザインは三野浄水場旧送水ポンプ室・動力室の窓に類似。床下換気口の金物は配水池の窓と同様の岡山市章をあしらったデザインとなっている。背後の便所等は撤去され約38m²を残すのみ。現在は倉庫などとして使われる。



▲三野浄水場 第1水源取水口



▲三野浄水場 橋建つる取水（千町・1号線建つる取水、奥・3号線建つる取水）



▲ 半田山配水池 3号配水池



▲ 京橋水管橋



▲ 三野浄水場 田勳方重・送水ボンプ室 (水道記念館)



▲ 田勳方重煙突



▲ 勳方重・相送水ボンプ所事務所